



国民春闘共闘

2023年度 第28号
2023年7月18日

国民春闘共闘委員会
〒113-8462 東京都文京区湯島 2-4-4 全労連会館
☎ 03-5842-5621 FAX 03-5842-5622

23 国民春闘共闘賃上げ第8回（最終）集計

単純平均 6,483 円・2.59% 加重平均 6,318 円

国民春闘共闘委員会（全労連、純中立労組懇、地方共闘などで構成）は7月6日、23春闘最終となる第8回賃上げ集計を行いました。

<回答状況>

	2023年	2022年同期
回答引き出し組合	1373	1351
うち 有額回答	865(63.0%)	885(65.5%)
うち「定昇確保」など言葉による回答	508(37.0%)	466(34.5%)
うち 2次回答以上の回答	221(16.1%)	146(10.8%)
うち 妥結組合	675(49.2%)	668(49.4%)

<要求と回答内容>

集計方法&対象		2023年要求	2023年回答	2022年同期	同期比
単純平均	額(円)	29,626	6,483	5,960	+523
	率(%)	9.65	2.59	2.06	+0.53
加重平均	額(円)		6,318	5,655	+663
	率(%)		2.31	2.02	+0.29
	組合員数		93,894	99,475	

<前年実績との比較が可能な組合における金額・率の比較>

		組合数	前年実績以上	前年実績超	23年回答	22年実績	実績比
単純平均	額(円)	635	455(71.7%)	403(63.5%)	6,658	5,561	+1,097
	率(%)	336	235(70.0%)	227(67.6%)	2.55	2.02	+0.53

<非正規の仲間の回答状況>

		時給制	月給制	再雇用・時給制	再雇用・月給制
単純平均	額(円)	31.5 (23.2)	4,538 (3,800)	37.1 (31.6)	4,688 (3,828)
	率(%)	2.93 (2.67)	2.61 (1.66)	2.93 (2.24)	2.54 (2.73)

※額または率のみの報告があるため、双方は連動しません。
※言葉による回答は平均などの計算から除いています。
※非正規の仲間の回答状況のカッコ()内は前年度最終集計の結果

<集計結果の概要>

回答引き出し・妥結状況

7月6日の第8回集計には、別表の32単産・部会から報告が寄せられました。回答引出し組合は2420組合のうち1373組合(56.7%)で前年最終集計(2022年7月7日:1351組合・57.9%)とほぼ同水準となっています。

そのうち金額もしくは率が明らかになっている有額回答を得たのは865組合(63.0%)で、508組合(37.0%)は「ベア獲得」「定昇確保」など言葉による報告となっています。

回答引出し組合のうち、221組合・16.1%が数次にわたる上積み回答を引き出しています。前年最終集計の146組合・10.8%を大きく上回っています。JMITU、全労連・全国一般、日本医労連の計3組合が6次回答を引き出したほか、5次回答4組合(JMITU:3、出版労連:1)、4次回答14組合(JMITU:7、日本医労連:3、化学一般労連:2、全倉運、全労連・全国一般:各1)、3次回答47組合、2次回答153組合となっています。

回答引出し組合うち675組合が妥結しており、妥結率は49.2%となりました。

回答内容

物価高騰の中でたたかわれた今春闘での要求水準は、単純平均(一組合あたりの平均)で29,626円・9.65%と、前年実績(25,436円・7.34%)から4,190円・2.31%上がりました。

有額回答を引き出した865組合での単純平均(一組合あたりの平均)は6,483円・2.59%で、加重平均(組合員一人あたりの平均)は6,318円・2.31%となりました。前年最終集計と比べ単純平均で523円・0.53%、加重平均で663円、0.29%上回りました。単純平均額では2001年春闘以来の6,000円台での最終集計となりました。

11組合(JMITU:5、建交労、出版労連:各2、全倉運・全労連・全国一般:各1)が2万円以上を勝ち取ったのをはじめ、1万円以上の5桁回答を引き出したのは137組合で、前年最終(88組合)を49組合上回っています。

引上げ率では5組合(JMITU:3、金融労連、全労連・全国一般:各1)が8%以上を引き出したのをはじめ、前年最終(43組合)を大きく上回る140組合が3%以上となっています。

前年実績と金額で比較可能な635組合での回答状況を見ると、63.5%にあたる403組合が前年実績を超える回答を引き出しています。今期の単純平均額は6,658円で前年実績を1,097円上回っています。率では336組合のうち227組合・67.6%が前年実績を上回り、単純平均で2.55%と前年実績比+0.53%となっています。

産業別にみると、医療関係が前年実績並み、社会福祉・介護関係が前年実績を下回る結果となっていますが、その他の産業では前年を上回る成果を勝ち取っています。また、同単産・部会の中でも、回答水準にバラツキが出ています。

パートやアルバイトなど非正規雇用で働く仲間の賃上げ状況

非正規雇用で働く仲間の賃上げ状況は、14単産224組合から425件の獲得報告が寄せられています。

時給制労働者での獲得件数は270件で、引上げ額は213件の単純平均で31.5円となりました。率では43件平均で2.93%となっています。前年実績23.2円・2.67%を8.3円・0.26%上

回っています。

月給制労働者では 66 件の獲得となっています。引上げ額は 58 件の単純平均で 4,538 円、引上げ率は 18 件平均で 2.61%となりました。前年実績 3,800 円・1.66%を 738 円・0.95 ㊦上回っています。

再雇用者の賃金引上げは、時給制労働者で 41 件、月給制労働者で 43 件の獲得となりました。時給制労働者で引き上げ額が分かる 39 件での単純平均は 37.1 円で、引き上げ率は 11 件平均 2.93%です。前年実績比+5.5 円・+0.69 ㊦となっています。

再雇用月給制労働者での引き上げ額は 34 件平均で 4,688 円、引き上げ率は 14 件平均 2.54%となっています。

生協労連の組合などでは粘り強い交渉で 2 次、3 次上積みを勝ち取り、全印総連・印刷関連ユニオンの組合では大手印刷会社で定昇 10 円に加え、初となるベア 30 円の回答を引き出しています。金融労連の組合では派遣や再雇用者も含めて月額 1 万円のベースアップを勝ち取っています。

企業内最低賃金協定の改定状況

企業内最低賃金協定の獲得状況は、別表の 10 単産 85 組合での集計となっています。時間額 106 件（前年実績 82 件）、日額 22 件（同 14 件）、月額 31 件（同 25 件）といずれも前年実績を上回る獲得件数となっています。

新協定額水準は、時間額では 102 件の単純平均で 1,043 円、日額は 19 件平均 8,480 円、月額は 27 件平均 173,633 円となっています。引上げ額・率は、時間額で 40.8 円・4.10%、日額 415 円・5.07%、月額 4,157 円・2.73%となっています。

職種別では、日本医労連、生協労連からの看護師、ヘルパーでの獲得報告となっています。看護師の新協定額は単純平均で時間額 1,252 円、日額 8,571 円、月額 194,023 円となっています。

進ちよく状況調査

第 8 回賃上げ集計に合わせて、要求提出状況、ストライキ権の確立・実施状況などについて調査する第 4 回進ちよく状況調査を行い、別表の 19 単産から報告が寄せられています。

調査組合 2521 組合のうち、63.6%にあたる 1603 組合で要求提出が確認できています。そのうち、1346 組合・84.0%が回答を引き出し、729 組合・45.5%が妥結・妥結方向となっています。

回答の状況を見ると、ベースアップ獲得組合が 363 組合と前年最終集計（2022 年 7 月 7 日：165 組合）から倍化しています。多くの組合でベア・ベア相当分の回答引出しがある一方、ベアゼロ（定昇のみ）回答も増え、ゼロ回答、定昇凍結回答も出ています。

ストライキ権は 1262 組合が確立しています。確立状況を調査中の 3 単産を除く 2228 組合に対して 56.6%となっており、前年最終集計（49.3%）を 7.3 ㊦上回っています。また、ストライキは 178 組合でのべ 242 回行われ、日本医労連の全国組合を行動単位で算出すると 341 組合でのべ 405 回のストライキ決起となりました。